

新型コロナ感染

夏真っ只中、もくせい の 里にも新型コロナがやってきました。やってきてしまいました。世界中に蔓延しているので感染しない保証はありませんが、一人が感染し、次の日にもう一人、二人と・・・油断していた訳ではありませんが、あっというまにクラスター状態。多くの利用者の方、職員が感染してしまいました。感染した職員は支援が出来ません。しかしながら感染した方、感染してない方それぞれの生活があります。通所担当の職員をはじめ、他事業所の職員が手を差し伸べてくれたことで危機的状況を乗り越えることが出来ました。あらためて感謝いたします。『ありがとうございました』



コロナ後の生活



先に上げたようにコロナ感染がありました。それ以降は今まで以上に感染対策に注意を払いました。コロナ前は外出や活動で施設外に出かける機会もありましたが、感染対策の一つとして不要不急の外出は控えざるを得ない状況になりました。利用者の皆さんの外出をしたい思いは強く「〇〇に行きたい」と直接的な訴えであったり、TV や本等を羨ましそうに見ていることもあり、外出をしたい気持ちは痛いほどわかります。今はまだ出かけることが出来ないことを利用者の方に理解してもらえるように伝えることの難しさを感じました。

コロナ禍で出来ること

外出が難しい状況下で「今、何が出来るのか」「利用者の皆さんが他に何を楽しみにしているのか」を考え、毎月の誕生会・季節の行事を今まで以上に盛り上げるように努めました。七夕会は食堂で流しソーメンを、棟内パーティでは皆の好きなメニューを揃えました。クリスマス会はNHK歳末助け合いの助成金により、盛り沢山のパーティーメニューをいただき、その後2人のサンタが来てくれました。それ以外にも毎月楽しい壁画や、行事ごとの色々な“愛”ディアで利用者の皆さんに楽しんでいただきました。



次年度に向けて

- ◆ 新型コロナのみならず感染症対策をしっかり行い、利用者の方一人ひとりの心身の健康を第一に考え、職員一同支援にあたります。
- ◆ 栃木市に住む障害者の地域生活支援拠点としての役割が十分に果たせていませんでしたが、次年度は少しずつ短期入所希望者を受け入れ、くらしだいじネットの緊急時支援ができるよう努めます。
- ◆ 利用者の皆さんの活力でもある、行事を含めた楽しみについて工夫を凝らし提供します。行事の様子・皆さんの笑顔は、随時ブログにアップしていきます。